

中国：武漢の新型コロナウイルス 2020 の蔓延をふまえたビジネス対応と不対応への申し立て

中国湖北省武漢で派生した新型コロナウイルスは、1月31日に世界保健機関によって、世界の公衆衛生上の緊急事態として宣言されました。新型コロナウイルスは中国の内外で拡散し続け、世界中の国や年で新しい症例が報告されています。公式統計によると、2020年2月13日現在、数万人がウイルスに感染し1000人以上が命を落としています。

中国では、ウイルスの発生にも関わらず、一部の工場は旧正月の休暇後に通常の稼働を再開しています。ウイルスが発生した武漢では、衛生や建設、コミュニティーの仕事に携わる労働者が、適切な衛生保護具もない中、都市の機能を維持するために奮闘しています。

一部の国では、ウイルスの拡散を防ぐために、中国から帰国した労働者を隔離したり、仕事を再開することを停止したりしている企業もあります。アメリカでは、アメリカン航空のパイロットが中国へのフライトの即時停止を求める訴訟を起こしました。世界中の航空会社も、新型コロナウイルスの拡散を防ぐための対策を採用しています。

【概要】

公表日：2020年2月19日

中国：フォ・シェンシャン病院、賃金の滞納と不十分なマスク提供により非難。国営メディアは、労働者が自発的に給与を放棄と発言。

作成者：NOW news

「フォ・シェンシャン病院、賃金の滞納と不十分なマスク提供により非難を受ける。

国営メディア：労働者が自発的に給与を放棄する」

2020年2月19日

・・・フォ・シェンシャン病院は、武漢のコロナウイルス肺炎患者を治療するために10日間で建設され、2月4日に営業を開始しました・・・

フォ・シェンシャン病院の質は、広範囲の懸念を引き起こしています。

加えて、建設に携わった労働者が、賃金の滞納や、マスク・必要な物資、飲み水などを十分に提供されず苦しんでいるという噂があります。

すでに削除された Farmers' Daily が発行したレポートによると、10人以上の移民労働者への給与支払いが遅延しています。

Farmers' Daily の記者がフォ・シェンシャン病院の外の仮設工事現場を訪れました。一部の労働者が、自分たちは請負業者を通じて採用され給与は日数ベースで計算される、と記者に語りました。

Tang Bin と呼ばれる労働者は、請負業者は仕事の初日以降は給与を支払わず、3 日分が未払いのままだと述べました。

流行防止規則にのっとれば、労働者たちはフェイスマスクを 4 時間ごとに交換すべきですが、彼らに与えられたのは、1 日につき 1 個のマスクと 1 本のミネラルウォーターだけでした。

そのため、Tang は自分で水を買わなければなりませんでした。

こうした申し立てがある一方で、労働者の食料と宿泊施設は保証されていました。

Farmers' Daily の記事が削除された後、netizens ネチズン（現実社会からインターネットなどのコンピュータネットワークに移住したかのように、積極的活発的に活動するユーザーのこと）は、ソーシャルプラットフォーム上で多くの人が、フォ・シェンシャン病院の建設労働者の多くが「賃金はいらないと主張している」と友人から伝え聞いた人からの人づて情報を再投稿し続けていることを発見しました。

これらの労働者は、武漢は今、大変な苦境にあるので、自分たちができることをしたいと主張しました。

建設現場で供給された食べ物と飲み物は十分な量でした。

フォ・シェンシャン病院の請負業者である中国建設第三エンジニアリング局は、賃金の滞納はなく、賃金はアウトソーシング業者と請負業者に事前に支払われたと回答し、この件に関し調査を進め、解明に努めていると述べました。

中国建設第三エンジニアリング局の代表は、Jian Kang Shi Bao（出版社）に対し、一部の労働者は賃金を受け取らなかったが、何人かは支払いも受け取らず連絡先も残さずに去ったボランティアだったと語りました。

[全文（英文）を読む](#)

【概要】

公表日：2020年2月19日

中国：顔認識会社は、マスクしていても顔を特定できると主張、プライバシーの懸念を提起

作成者：Quartz（米国のオンライン経済メディア）

「中国の顔認識企業の巨人、コロナウイルス発生でマスクに覆われた顔でも見破れると発言」

2020年2月18日

抗議者には歓迎されないニュースですが、中国の一部の人口知能企業は、コロナウイルスの大流行が継続している現状に対応するための努力の一環として、フェイスマスクを着用していても顔認識することが技術的に可能になった、と発表しています。

中国の SenseTime（中華人民共和国香港特別行政区新界沙田区に本社を置く、ディープラーニング技術を応用した人工知能と顔認識技術の研究と開発を手がけている企業）は、次のように発表しました。・・・

赤外線カメラを組み込んだ顔認識製品を展開し、体温の高い人を見つけ、ソフトウェアのユーザーにポップアップアラートを送信します。・・・この製品は、公共の場所でマスクを着用していない人を検出することも可能です。

一方、建物へのアクセスを制御するため、同製品のソフトウェアはマスクを着用していても、「高精度」で人を識別することができる、とリリースは述べています。また、保護カバーを着用していない人にフラグを立て、建物に入るにはマスクを着用するよう要求します。

SenseTime は、発熱検出システムが3つの公共の場所で使用されていることを、Quartz に伝えました。

一方、自宅作業をしていた作業員がオフィスに戻り始めたため、今後数週間以内に、マスクを着用していても従業員を認識し入館できるようにすることが、オフィスビルにとって不可欠となります。

上記とは別に、韓国の大手電子企業 LG の子会社は先週、SenseTime と協働し、医療用マスクや眼鏡、化粧をしていても、0.3秒以内に99%の精度で従業員を認識できるビルアクセスシステムをソウルのオフィスに設置した、と述べました。

北京に拠点を置く Hanwang Technology（インテリジェント対話型ハードウェア・ソフトウェア製品の生産、産業応用、技術ライセンス供与及びプラットフォーム・サービスの提供に従事する中国の会社）もまた、最近、ドアアクセス装置にマスクをしていても顔を認識できるようにする機能を展開したと述べました。

同社はこの技術を監視装置に適用し、マスクを着用している人を特定するとともに、公共の場でマスクを着用していない人を当局に通報できると言っています。

北京青年日報は、・・・首都の一部のオフィスビルですでに使用されていると述べています。

Hanwang Technology は、すぐには質問には答えませんでした。・・・

Megvii（画像認識および深層学習ソフトウェアを設計する中国のテクノロジー企業）は、・・・マスクを着用していても人々を認識する技術を開発するためにお金を借りていた、というロイターのレポートに反応したオンライン上の反発に直面し、声明を出す必要に迫られました。

声明は、技術が「誤解されている」といい、当社は体温をスキャンするためだけに額を特定するシステムを開発し、北京で試行中だと述べました。

多くの人々は、コロナウィルスが当局に、これまでにない深さまで人々の生活に監視の目を埋め込む機会を与えていることを恐れています。

ソーシャルメディアプラットフォーム Weibo（中華人民共和国・新浪公司の運営するミニブログサイト。Twitter と Facebook の要素を併せ持ち、中国全体のミニブログユーザーのうちの 57%、投稿数にして 87%を占める）のユーザーの一人は、「中国では、顔認識+ビッグデータ、リモートモニタリング+リアルタイムアラートなどの派手な監視の組み合わせを展開する、ハイテク企業が増え続けています。」と述べています。「これは、ウィルスのような言い訳を利用して、技術の進歩が私たちの生活に入り込んでくる方法の一例です。・・・人々のプライバシーの境界は、どこにあるのでしょうか？」

[全文（英文）を読む](#)

【概要】

公表日：2020年2月4日

中国：新型コロナウイルスが蔓延する中、労働者は限られた衛生保護ツール供給の下で武漢の機能維持に奮闘

作成者：China Labor Bulletin（香港）

「武漢のコロナウィルスと戦うために舞台裏で奮闘する労働者」

2020年2月4日

チェンは旧正月休暇のために陝西省の故郷に戻ることを計画していましたが、1月23日に

武漢が封鎖されたため、他の何百万人と同様に街に閉じ込められました。当初、チェンは何をすべきか分かりませんでした。すぐに食品配達会社 Meituan と協力し、効率的で衛生的な配達システムを編成し、医療従事者に必要な食事を提供できるようにしました。

チェンとその同僚の努力は、新しいコロナウィルスの蔓延が、武漢の最前線の医療スタッフに影響を与えたのみならず、武漢の配達員、タクシー運転手、公衆衛生やコミュニティの労働者に並外れた要求を課した事実を証明するものです。もちろん、わずか数日の間に新しい病院を建設するため、契約を結んだ数千人の建設労働者はいうまでもありません。

しかも、これらの労働者は更なる圧力にさらされています。マスクや手袋、消毒薬等の多くの衛生保護ツールのリソースが最前線の医療スタッフに優先的に費やされ、サポートスタッフのほとんどは、保護されないままになっているためです。

武漢の衛生労働者は、増加した作業量と限られた物資で街の通りを清潔に保つことに苦勞しています。・・・通常の清掃サービスに加えて、衛生労働者はリサイクルビンを空にし、1日3回車両を殺菌し、路上に消毒剤を噴霧しなければなりません。・・・

マスク、手袋、消毒剤はすべて不足しています。ある労働者グループは、雇用主から毎日、消毒剤と再利用可能な労働手袋を受け取り、他のグループは雇用主から2つのマスクだけを割り当てられました。

交通機関の停止はまた、すでに人手不足の状態にあったコミュニティ労働者への圧力を計り知れないほど増大させました。・・・市のコミュニティワーカーは、地元住民の健康をモニターし、家を出ることができない人々が十分な食料、医薬品、その他必需品を確保できるようにすることを任されています。・・・

しかし、コミュニティワーカーの大半は、危機に対処するための備えが整っていません。ウイルスの性質に関する正確な情報も提供されず、最も基本的な保護ツールしかありませんでした。

タクシー運転手 Yu Huahui 氏は GQ レポートに、彼の会社はドライバーにサージカルマスクと消毒剤しか提供していないと語りました。

・・・武漢のある食品配送会社では、1人あたり最大5つのマスクを割り当てましたが、すべての宅配ドライバーに、作業中はマスクを着用し、気分が悪い場合は会社に通知するよう求めました。一方、JD.com は、配達員に毎日新しいマスクを提供しています。時には外科用マスクであり、時には N95 マスクです。ある宅配業者は、これは他の配送会社と比較して非常に高いレベルの保護であると述べています。

地方自治体だけでなく民間企業も、現在、都市の機能を維持する上で非常に重要な役割を果た

している武漢の労働者を支援するために、より多くのことを行うことができ、またそうすべきです。地元の労働組合も、従業員を適切に保護するよう雇用主に圧力をかけることで、大きな役割を果たすことができるはずで

[全文\(英文\)を読む](#)

【概要】

公表日：2020年2月4日

中国：政府は企業にコロナウイルスの拡散を止めるための業務を停止するよう求めているにもかかわらず、テクノロジー企業は製造業務を維持

著者：ロイター

「Huawei、中国のチップメーカーはウイルスの発生にも関わらず工場の操業を続けています」
2020年2月3日

中国の一部のテクノロジー企業は、政府がさまざまな都市や省で、新型コロナウイルスの拡散を阻止するため、業務を停止するよう企業に求めているにもかかわらず、部品や製品の製造業務を続けています。

中国の大手通信会社である Huawei Technologies Co Ltd は・・・ 消費者向けデバイスやキャリア機器を含む商品の生産を再開し、正常に稼働していると述べました。

党は一部の都市および州ですべての業務を停止するよう求めているにもかかわらず、同社は特定の重要な産業の操業を許可する特別な免除規定に基づき、旧正月の休暇後に製造を再開しました。

スポークスマンは、生産の大部分が広東省南部の都市にあると述べました・・・

他の企業も、政府が国内の技術サプライチェーンが非常に重要であると考えていることを示すように、場合によっては新年を通して生産を継続しています。

Yangtze Memory Technologies Co Ltd (YMTC) は、ウイルスの発生が始まった武漢を拠点とする国営のフラッシュメモリチップメーカーであり、生産を停止していないことが確認されました。

「現在、YMTC での生産と運用は正常に整然と進行しています」と、同社の広報担当者は声明で述べています。広報担当者は、従業員が感染事例として確認されていなかったと言い、会社は従業員の安全を確保するために特定の隔離措置と区画を制定したと述べています。

一方、Semiconductor Manufacturing International Corp も、休暇中も生産を続けました。ソーシャルメディアの投稿で、同社は休暇前に作業グループを組織し、従業員の安全を守り、政府の規制を順守しつつ、工場が稼働し続けることができるようにすると述べていました

TSMC[Taiwan Semiconductor Manufacturing Co]スポークスウーマンである Nina Kao 氏はロイターに、同社は現在中国で「部分的な運用を維持」しており、2月10日にフル稼働を再開する予定であると語りました。

ディスプレイパネルとテレビのメーカーである TCL Corp は、・・・LCD スクリーン用の China Star Optoelectronics Technology Unit (CSOT) の工場ラインは「一年中ノンストップで稼働している」が、武漢工場に関しては、材料供給の遅れが予想されると述べました。

中国の別のディスプレイメーカーである BOE Technology Group Co Ltd は、国営メディアの Global Times に、武漢の工場の1つがコロナウイルスの影響により、供給不足に直面したと語りました。

グローバルメモリセクターを追跡する調査会社 TrendForce は、武漢に近い都市にある Changxin Memory Technologies Co Ltd (CXMT) と、武漢にある別のメモリ会社である Xinxin Semiconductor Manufacturing Co Ltd の工場が操業を続けていると報告しました。両社は、電子メールによるコメントの要請にすぐには応答しませんでした。

中国に工場がある海外の部品メーカーも生産を続けています。サムスン電子は・・・「コロナウイルスの発生にもかかわらず西安のチップ工場で生産の混乱は見られなかった」と、この問題に詳しい2人がロイターに語りました。サムスン電子の担当者は、旧正月休暇中に生産が停止しなかったと発言して、工場が通常どおり稼働していることを認めました。

サムスンディスプレイ、SK ハイニックス、LG ディ스플레이の代表者も、中国の工場をいつものように運営していると述べました。

[全文\(英文\)を読む](#)